

人間関係とコミュニケーション

問題 3 人間関係と心理に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自己愛とは、自分という存在を、他人と区別して意識することである。
- 2 自己同一性の確立とは、自分とは何かという認識をもつことである。
- 3 自我とは、日常行動に影響を与える、表面化していない意識のことである。
- 4 自己覚知とは、コミュニケーションにおいて自分について話すことである。
- 5 自己中心性とは、自分の意思で自分の行動をコントロールすることである。

問題 4 Aさん(80歳, 男性)は、有料老人ホームに入所することになった。一人

暮らしが長かったAさんは、入所当日、担当の介護福祉職と話すことに戸惑っている様子で、なかなか自分のことを話そうとはしなかった。介護福祉職は、一方的な働きかけにならないように、Aさんとコミュニケーションをとるとき、あいづちを打ちながらAさんの発話を引き出すように心がけた。

このときの、介護福祉職の対応の意図に当てはまるものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 互いの自己開示
- 2 コミュニケーション能力の評価
- 3 感覚機能の低下への配慮
- 4 認知機能の改善
- 5 双方向のやり取り

もんだい つぎ きじゆつ かいごふくししょく かん もっと
問題 5 次の記述のうち、介護福祉職のキャリアパスに関するものとして、最も
できせつ えら
適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護計画を作成するときのポイントを明確にする。
かいごけいかく さくせい めいかく
- 2 介護福祉職の業務マニュアルを具体化する。
かいごふくししょく ぎやうむ ぐたいか
- 3 利用サービスに応じて求められる関係書類を検討する。
りよう おう もと かんけいしよるい けんとう
- 4 介護施設に必要な設備基準について確認する。
かいごしせつ ひつよう せつびきじゆん かくにん
- 5 介護福祉職として必要な能力や経験を明確にする。
かいごふくししょく ひつよう のうりよく けいけん めいかく

もんだい かいごろうじんふくししせつ がっこう そつぎよう げんき かいごふくししょく
問題 6 B介護老人福祉施設に、学校を卒業したばかりの元気なC介護福祉職が
くわ げつご さいきん かいごふくししょく えがお すく
加わった。2か月後、ユニットリーダーが、「最近、C介護福祉職に笑顔が少ない。
いづもとちがうやうさだ」と、フォロワーであるD介護福祉職に話した。D介護福祉
しよく いちいん なに かんが
職はチームの一員として何ができるのかを考えた。

かいごふくししょく さいしよ おこな もっと できせつ えら
D介護福祉職が最初に行うフォロワーシップとして、最も適切なものを1つ選
びなさい。

- 1 C介護福祉職に対して、元気を出すように励ます。
かいごふくししょく たい げんき だ はげ
- 2 ユニットリーダーが気になっていることを詳しく聞く。
き き ぐわ き
- 3 C介護福祉職の状況をユニット内のほかのメンバーと速やかに共有する。
かいごふくししょく じやうきやう ない すみ きやうゆう
- 4 施設長に対して、何か指示を出すようお願いする。
しせつちやう たい なに しじ だ ねが
- 5 C介護福祉職に対して、介助方法について教える。
かいごふくししょく たい かいじょほうほう おし